

(毎月 10 日・25 日発行)

復興ニュース

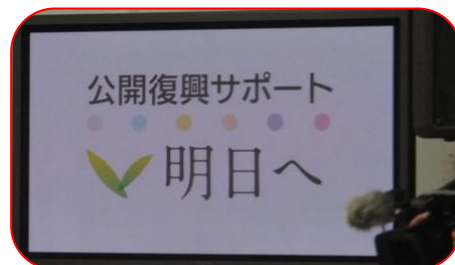
84 号
2013 年
2 月 25 日
メール

発行：NPO 法人夢ネット大船渡
大船渡市盛町字内の目 14-15
HP「夢ネット大船渡」と検索を
npoyumenet@bz01.plala.or.jp

みんなで“公営住宅”をつくろう こんな暮らし方したい+

3 月 3 日午前 10 時 5 分～10 時 53 分

NHK 総合テレビ放送



●2 月 11 日 仙台での収録へ大船渡から出席



最後に講師を囲んで記念写真

阪神大震災で快適な公営住宅作りに取り組んだ、元愛知産業大学教授で NPO 法人「まちの縁側育み隊」の延藤安弘先生から「住民が主体の住宅作り」について最初にお話していただきました。

●延藤先生から

- 1、公営住宅を「物・金・制度」ありきではなく、「人・地域・暮らし」ありきで考えよう。
- 2、津波からの安全だけでなく、人と人のつながりのご縁のある住宅、住手の権利としての居住権の確立が大切である。
- 3、住宅づくりのあらゆる段階に住み手が主人公である。住民のつぶやきに耳を傾ける行政たるべきだ。制度の壁を越えて、制度を変えていくのだ。入居するとき、グループ入居（地域単位・仮設単位等）、信頼関係。入居後のコミュニティのスタートである。まわりから高齢者を見守るなど、地域の問題は地域で解決する。
- 4、誰がやるのか（担い手）お世話役（リーダ）、人の世話役でなく、次の三つのタイプが必要
①理念派、②実務派、③思いやり派、対立やトラブルを力に変えよう。もし対立やトラブルがあった際は、地域の宝物探しを行おう。

2 月 11 日仙台市の東北大学で、東北の元気を日本へ、日本の元気を東北へ、『NHK による「公開サポート」明日へ in 東北大学』が開かれました。

当日は 26 企画が行われそれぞれ収録して後日に放送されます。

大船渡チームが出席したのは、「みんなで公営住宅を作ろう」、約 5 時間の収録を行いました。

ぜひ 3 月 3 日（日）午前 10 時 5 分からの NHK 総合テレビを見てください。



人間こそ最高の宝である。新しい仲間を増やそう。

●地域ごとにワークショップ

最初の文字をならべると「ふるさとさいせい」となりました

出席しました大船渡 2 班、山元町 1 班、名取市（閉上）1 班の 4 グループでワークショップを行い、その発表をもとに延藤先生が次のようにまとめました。



- ふ ふんばる住手のツブヤキを生かそう、耳をかたむけよう。
- る るつぼの様な他世代、おでんのようなまざり合い。
- さ さびしい無縁社会をこえて、多様な有縁なコミュニティづくり。
- と ときめきの思い出が未来をひらく。
- さ さちの海も丘も大工技術も生かし、ばあちゃんもじいちゃんもわらしこも楽しもう。
- い いろいろおいしい料理や縁側でお茶、ユーモアのあるまったり楽しいまちの一日。
- せ せかいに発信しよう子どもの視点、路地文化、大漁節、貞山掘り、住まいと仕事づくりをセットにしよう。
- い いっぱい遊びたい、畑仕事したい、話し合いたい、はらこめしを食べたい、楽しいことをしながら話し合いたい。ふるさと再生の公営住宅、有縁コミュニティに。

NHKの方から2ヶ月ほど前に夢ネットへ連絡がありました。2月11日、東北大学の校舎を借り切って、復興公開サポートを開催します。その催しに「仮設住宅入居希望者」に、住みたい災害復興住宅についての「ワークショップ」を行うので、出席して頂きたいとの依頼でした。

誰に声をかけようか迷っていましたが、永沢仮設の某さんに相談したところ、私も災害公営住宅希望であるとお聞きし、永沢仮設から10名の皆様に参加して頂きました。



●最後に
大船渡市・陸前高田市でも、すでに高台移転が決まった地域もありますが、未定の地域でも決まった地域も、住みやすい地域（住宅）づくりへ、どんどん話し合いきましょう。

被災者の心 歌でケア

稲田貴久トーク&ライブ

稲田さんは半田市出身、旅行会社の添乗員だった。28才で重度のうつ病を発症。病院での治療と周囲の支えで社会に復帰を果たし、現在は貨物会社で働いている。



●陸前高田会場
日時：3月9日（土）14：00～16：00
場所：地域密着型介護老人福祉施設「陸前高田」
高田町大隅 8-6 Tel47-4065

●大船渡会場
日時：3月10日（日）10：00～12：00
場所：末崎町ふるさとセンター
主催：チームこもれび心のケア気仙有志の会

問合せ先：末崎地区サポートセンター「おたすけ」
Tel 29-2010

入場無料

音楽は、若い頃からの趣味、快復後本格的に始め、地域で演奏活動などを行っている。昨年春には、がんを克服して音楽活動を続ける岡崎市の杉浦貴之さんに共感、作詞を始めて活動の幅を広げた。

「うつ病に苦しんでいたころは周りが見えなくて、自分だけが不幸だと思っていた」と稲田さん。だが、大震災の被災地の惨状を見て、現地では精神的な支えが必要になっていると感じ、福島のボランティア

センターに訪問を打診。避難所では歌を披露するほか、被災者の心のケアにも乗る予定だ。
※チラシより転記 多くの皆様のお来場をお願いします。

死別・離別の悲しみ相談ダイヤル

いなくなったことが現実だと思えない／これから先、どうしていいかわからない／自分が悪かったのではないかと思ってしまう／置き去りにされた気がする・・・

大切な人とわかれると、心や体に様々な変化が、あわわれることがあります。それはだれにでも起こり得ることです。 ※岩手・宮城・福島からのみ利用可能です

毎週日曜・毎月11日 10：00～20：00
通話無料・秘密厳守 NPO法人ライフリンク **0120-556-338**

3月の無料法律相談

3月 2日 (土)	14:00~16:00
3日 (日)	10:00~12:00
30日 (土)	14:00~16:00
31日 (日)	10:00~12:00

3月の無料法律相談は2回行います。前号のお知らせに3月2日・3日と23日・24日とお知らせいたしました。3月2日と3日は予定通り行いますが23日と24日は、30日・31日と変更になりましたのでお詫びし訂正いたします。

相談は予約が必要です。〈一人約40分を予定〉

予約先：三鉄盛駅ふれあい待合室

TEL (0192) 47-3542

相談会場はカメラアホールを予約していますが、最初に三鉄盛駅ふれあい待合室へ(受付)お出で下さい。主催：ヒューマンライツ・ナウ、協力：夢ネット大船渡



弁護士と語る会

今被災地ではどんな法律問題が起こっているのか、その傾向を弁護士から報告いただき、話し合う会です。どうぞお気軽にお出で下さい。●3月2日午後3時から4時半

●カメラアホール

主催：ヒューマンライツ・ナウ・夢ネット大船渡

JRも三鉄も動き出す



JRは3月2日よりBRT(バス)にて、気仙沼駅から盛駅まで運行されます。

三陸鉄道南リアス線は4月3日から盛駅から吉浜駅まで鉄路で部分開通いたします。

BRT 大船渡線運行開始を祝って、3月2日・3日に記念イベントが数多く行われます。

夢ネット大船渡も開通を祝って3月2日・3日に、三鉄盛駅ふれあい待合室前にて「わかめシャブシャブ」を無料で提供します。

また、左の「ともえ座公演」は、三鉄部分開通プレイベントとして企画しました。

このポスターは東京の方の作成です。

すでに入場整理券(400枚)は配布終了しています。券持参の方お忘れなく! 3月16日午後1時30分開場、2時開演で行います。



JR 田茂山踏切から鉄路を撤去し舗装



2月16日三鉄車両の搬入

夢ネット大船渡が合宿研修

『中長期の視点で単年度の事業体制を整え、人を育て、経営基盤強化をめざす』との基盤整備事業として、夢ネット大船渡初めての合宿研修会(10名受講)を、2月17日・18日の両日、志戸平温泉で実施しました。

この研修は、日本NPOセンターの支援を受けて行ったもので、第1日目は「事業計画を単年度と中長期でとらえる」(講師：日本NPOセンターの田尻佳史氏)。第2日目は「ボランティアコーディネーションを学ぶ」(講師：日本ボランティアコーディネーター協会の上田英司氏)のテーマで行いました。

NPO法人のミッション(使命)を明確にし、組織と事業の中長期の目標を持って、単年度計画を考えようとの指導や、ボランティアのやる気を引き出すコーディネート等について学んで来ました。



3月の行事

三鉄盛駅ふれあい待合室

●お茶会 無料

3月10日(日)

10:00~12:00

●ウォーク 無料

3月23日(土)

9:40 集合

※20日申込締切

●カラオケ

3月26日(火)

参加費 100円

連絡先 Tel47-3542



絵本 ふろしきづつみ

3月4日から販売開始

大津波にのまれた家族の生死を分けたふろしきづつみ！
東日本大震災から2年…奇跡の実話が絵本になりました。
絵本「ふろしきづつみ」は、筆者小松則也さん（54歳）が、母の小松フスミさん（80歳）や妹の千葉勝子さん（51歳）から被災時の様子を聞き取り、絵本に表したものです。

フスミさんは、震災の時に岩手県立高田病院の4階病室におりました。夫の雅男さん（享年84歳）の看護のためです。娘の勝子さんは、母を迎えに来ていました。そして、3人は、2011年3月11日、高田病院で地震と津波に遭うことになります。

3人の命を救ったのは、流れ着いた不思議な「ふろしきづつみ」でした・・・

AB判上製本 36頁 定価1,400円（税込） 各書店で販売します

予約割引受付中 3月3日まで 1,200円（郵送の場合+送料80円）

「絵本ふろしきづつみ予約申込書」と記載し、「お名前・送付先・連絡先電話番号・注文冊数・手渡し（協力者のお名前）・郵送」を記入し下記へ申込下さい。

電話/FAX：019-697-3718 Eメール:komatti5@a011.broadajp

3.11を忘れない

あの大震災から満2年目の日が近づいて来ました。各地で犠牲者を悼む集会等が行われます。「3.11を忘れずに後世に伝える」そして「復興への決意を行う日」として有意義な日を過ごしたいと思います。その3.11の行事を二つ紹介します。

陸前高田市 「小友地藏尊」で法要

3月11日午前10時から

昨年11月に一般社団法人元気人間製造研究所（大阪府・森重子理事長）の事務局長の中西さん（石刻師）が制作しました「お地藏様」が、平泉中尊寺様のお手配により、このほど立派な台座が設置されました。

3月11日午前10時から、中尊寺管主様がお出でになり、3回忌の法要を行うことになりました。代表の志田勘一郎様ご夫妻をはじめ、ご近所の皆様が月命日にお祈りを行うなど、大切にお世話をしていますお地藏様です。



写真は、「山田とれたて通信」から（ネット）コピー 主催：3.11を考える有志の会（事務局：夢ネット大船渡）

大船渡市 JR盛駅前「花は咲く」大合唱

3月11日（月）午後5時30分から

NPO団体としても、「犠牲者の霊を悼み、3.11を忘れずに」との願いで、夢灯りを囲みながら「花は咲く」や「世界に一つだけの花」を大合唱したいと企画致しました。この企画に「フラカメリア」の皆様の賛同を得て、歌に合わせて踊りを披露することになりました。当日は、多くの方々に集まって頂きますよう心からご案内いたします。

この復興ニュースは、東北労働金庫の「復興支援助成」を受けて発行しています。配布ボランティアさんや情報連絡者を募集しています。

投稿をお待ちしています

TEL 47-3271

全国のコンビニ、郵便局、銀行でつかえる！
ろうきんのカード

① さらに！
セブン銀行 イオン銀行
のATM利用手数料が、**0円!**
※セブン銀行での1日1回以上の引き出しに限り、105円のご利用手数料がかかります（消費税含む）。
※ご利用手数料はまったく負担いただきませんが、毎月のご利用手数料金額をまとめて翌月15日にご利用の口座（カードローン等の場合はご返済口座）にご入金いたします。

② なんと！ そのほかのATMでも利用手数料は翌月に、**キャッシュバック**

東北労働金庫岩手県本部
0120-1919-62
(受付時間：平日午前9時～午後5時)
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

ROKIN
暮らしの安心にはOKIが最強。